日本の株式市場改革の遅れと中堅・中小企業、ベンチャー企業の成長停滞
【補足データ】

米国企業の資本形成(Capital Formation)

ープライベート・マーケットにおける資本調達と企業価値・時価総額の拡大ー

1．スタートアップ・ベンチャー企業のユニコーン企業・IPOへの資本形成

事例１-１ Uber Technologies, Inc.（ライドシェア・サービス）

事例１-２ Zoom Video Communications, Inc.（コミュニケーション・ツール）

事例１-３ Carbon, Inc.（3Dプリンター等製造業）

事例１-４ 908 Devices, Inc.（超小型質量分析器等製造業）

2．中小企業の大企業への資本形成

事例２-１ Honest Company, Inc.（婦人・乳児向け日用品小売業）

事例２-２ TPI Composites, Inc.（複合材料構造物製造業）

事例２-３ Gilmore Homes Gilmore Loans, LLC（不動産業）

事例２-４ Muscle Maker, Inc.（飲食業・レストランチェーン）

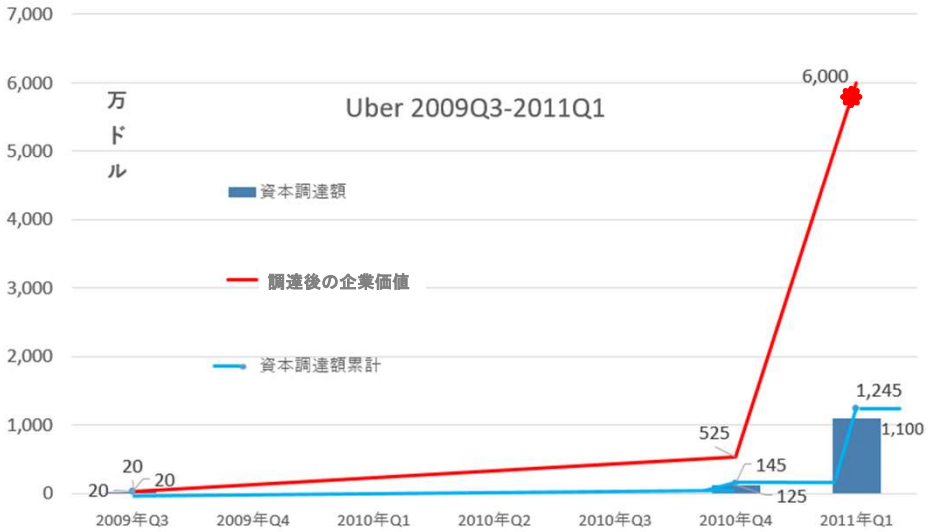
参考事例　メルカリの資本形成プロセス

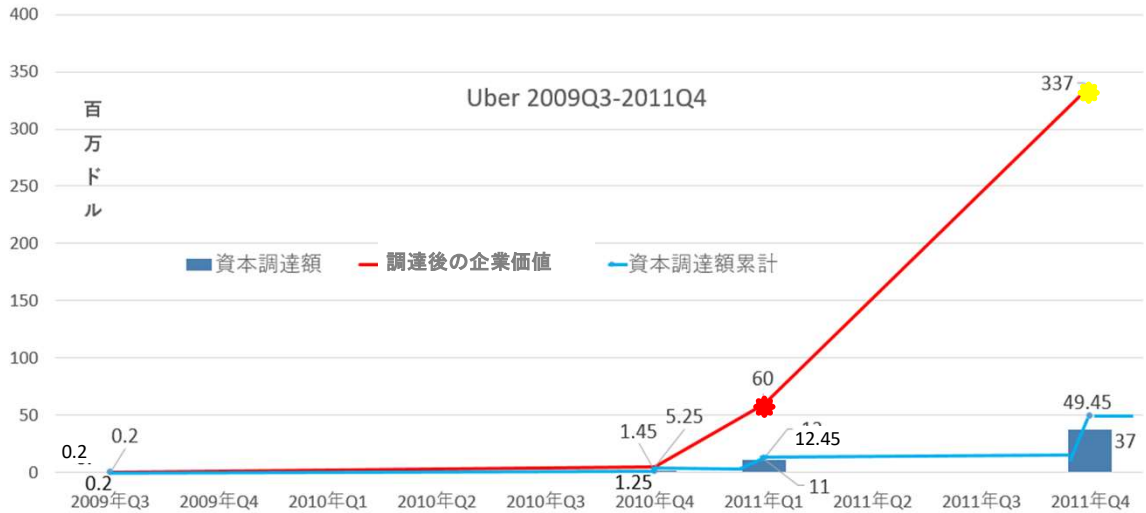
2022年2月17日
経済産業研究所
コンサルティング・フェロー
田所 創

1. スタートアップ・ベンチャー企業のユニコーン企業・IPOへの資本形成

事例１-１ Uber Technologies, Inc.

〇ライドシェアサービスを展開するウーバーは、2009年の設立後、まず、個人投資家やベンチャーキャピタルから投資を受け、その後、レギュレーションDに基づく私募等による未上場式市場（プライベート・マーケット）からの資本調達を繰り返して成長した。成長期待の高まりとともに企業価値が向上し、より多くの投資家が集まり、ラウンドごとの資本調達額も拡大。投資家間で取引され、株価も上昇し、企業価値が資本調達額の累計を大きく超えて拡大し、シリーズＢの後には、企業価値が10億ドルを超えるユニコーン企業となった。





公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額 money raised	資本調達額累計 Amount raised	資本調達後の企業価値＊1	免除規定等＊2	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2009年8月	設立						
2009年8月8日	シードラウンド	20万ドル	20万ドル	20万ドル			
2010年10月15日	エンジェルラウンド	125万ドル	145万ドル	525万ドル			
2011年2月14日	シリーズA	1,100万ドル	1,245万ドル	6,000万ドル			
2011年12月7日	シリーズB	3,700万ドル	4,945万ドル	3億3,700万ドル	レギュレーションD ルール506　株式の私募	3,900万ドル	2012年2月27日

出所：資本調達額、企業価値はCrunch Base。免除規定と募集額はSEC EDGAR、ラウンドと免除規定・募集額の突き合わせは筆者の推定を含む（以下同じ）。

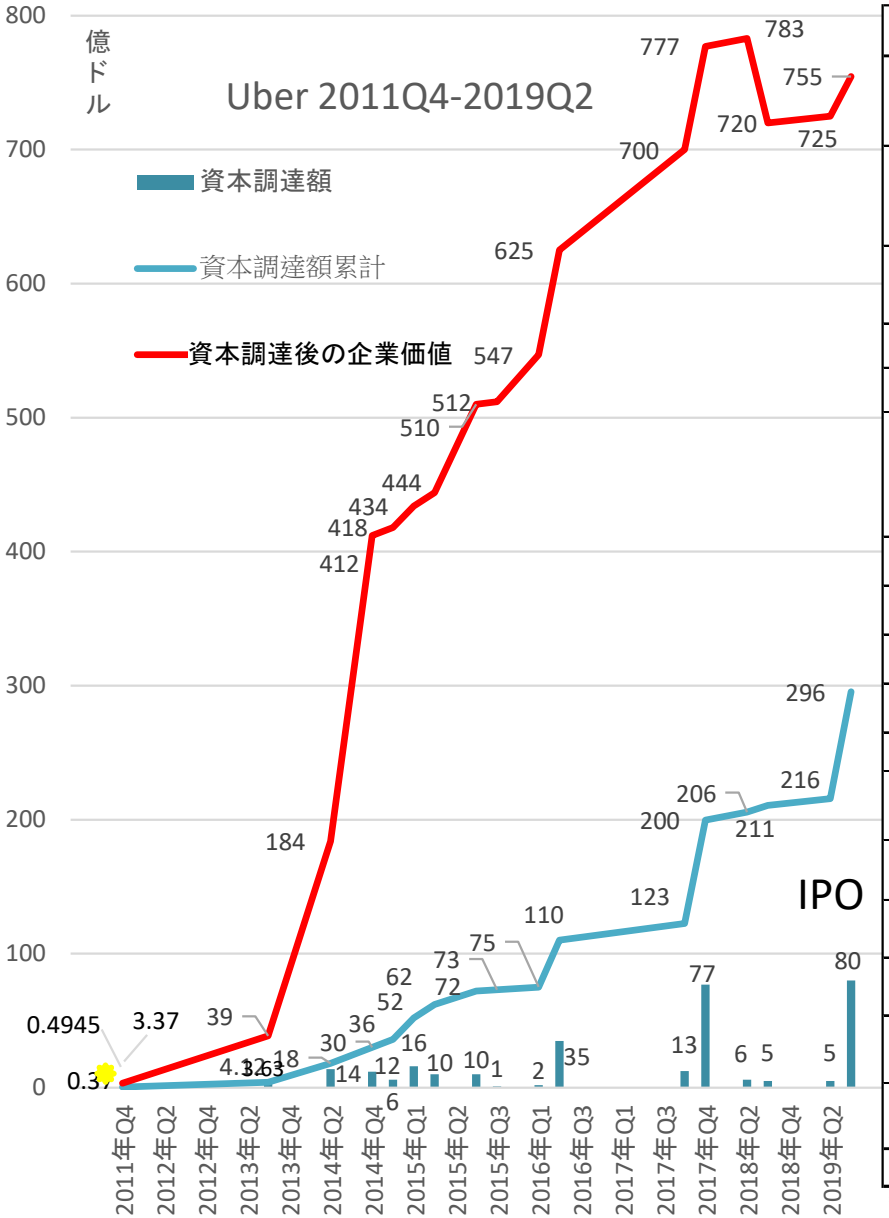
＊１ 資本調達後の企業価値（Post-money Valuation）は、資本調達前の企業価値に資本調達額を加えたもの（以下同じ）。企業価値は株価が形成されると時価総額から負債を除いて算定することもできる。この場合の企業価値は株主価値と呼ばれる。 時価総額は、株価×発行済み株式数で算定される。

＊２ ここでは、株式の公募に課される開示義務を免除するセーフ・ハーバー・ルール（レギュレーションD及びレギュレーションA）に基づくSECへの登録・届け出であって、EDGARで公衆縦覧（開示）されるものを記載している。EDGARでの公衆縦覧を伴わない証券取引法の免除規定やセーフ・ハーバールールとしては、証券法第３条(a)(11)及びルール147又はルール147Aに基づく州内に限定された株式の公募(この場合も州法に基づく株式の登録義務はある)、証券法第4条(a)(2)の私募、並びに私募で購入した株式のルール144Aに基づく適格機関購入者への転売などがある。

©2022,H.Tadokoro,RIETI

事例１-１ Uber Technologies, Inc.（続き）

〇ウーバーはユニコーン企業となった後もレギュレーションDに基づく私募等による資本調達を繰り返した。株式が未上場株式マーケットプレイス(Nasdaq Private Market)などで取引されるなか、ラウンドごとの募集額が10億ドルを超えるまでに増大し、企業価値・時価総額が加速度的に拡大した。こうして投資資金を確保し、株主との戦略的な事業提携を進めつつ事業を拡大、グローバルメジャーに成長し、企業価値が700億ドル(7兆7,000億円)を超えて、2019年にIPOを実施した。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の企業価値	免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2013年8月23日	シリーズC	3億6,300万ドル	4億1,245万ドル	38億6,300万ドル	レギュレーションD ルール506 株式、優先株式の私募	2億7,279万ドル	2013年8月27日
					レギュレーションD ルール504(b)(1) 株式の500万ドル以下の小規模公募	99万ドル	2014年7月29日
2014年6月6日	シリーズD	14.0億ドル	18.1億ドル	184.0億ドル	レギュレーションD ルール506(c) 株式の適格投資家私募	13億4,263万ドル	2014年11月17日
2014年12月4日	シリーズE	12.0億ドル	30.1億ドル	412.0億ドル	レギュレーションD ルール506(c) 株式の適格投資家私募	28億0,333万ドル	2015年5月13日
2014年12月12日	シリーズE	6.0億ドル	36.1億ドル	418.0億ドル			
2015年1月21日	転換社債	16.0億ドル	52.1億ドル	434.0億ドル	レギュレーションD ルール506(c) 社債、新株引受権、償還可能転換優先株式等の適格投資家私募	16億9,051万ドル	2015年5月13日
2015年2月18日	シリーズE	10.0億ドル	62.1億ドル	444.0億ドル			
2015年7月31日	シリーズF	10.0億ドル	72.1億ドル	510.0億ドル			
2015年8月19日	プライベート・エクイティ	1.0億ドル	73.1億ドル	512.0億ドル			
2016年2月12日	プライベート・エクイティ	2.0億ドル	75.1億ドル	547.0億ドル			
2016年6月1日	シリーズG	35.0億ドル	110.1億ドル	625.0億ドル			
2017年12月28日	ベンチャー・シリーズ	12.5億ドル	122.6億ドル	700.0億ドル 7兆7,000億円＊1			
2017年12月28日	セカンダリー・マーケット	77.0億ドル	199.6億ドル	777.0億ドル 8兆5,470億円			
2018年5月23日	セカンダリー・マーケット	6.0億ドル	205.6億ドル	783.0億ドル 8兆6130億円			
2018年8月27日	コーポレート・ラウンド	5.0億ドル	210.6億ドル	720.0億ドル 7兆9,200億円			
2019年4月26日	Post-IPO エクイティ	5.0億ドル	215.6億ドル	725.0億ドル 7兆9,750億円			
2019年5月9日	IPO	79.9億ドル	295.6億ドル	754.6億ドル 8兆3,009億円	株式登録届出書の提出 株式の公募	81億ドル	2019年5月9日 （効力発生日）
計		295.6億ドル	―	―	―	3億ドル	―

＊1 1ドル=110円換算。以下同じ。

©2022,H.Tadokoro,RIETI

事例１-１ Uber Technologies, Inc.（続き）

〇ウーバーが実施した私募等による資本調達に応じた投資家は以下のとおり。初期は個人投資家、ベンチャーキャピタル等、その後は、金融機関、機関投資家、投資会社や海外の大規模なファンド、さらには、IT企業、自動車会社などが投資している。このようにウーバーは、私募により株主を選別して、資本調達による投資資金の確保に併せて技術開発や国際展開等のための戦略的事業提携を進めている。

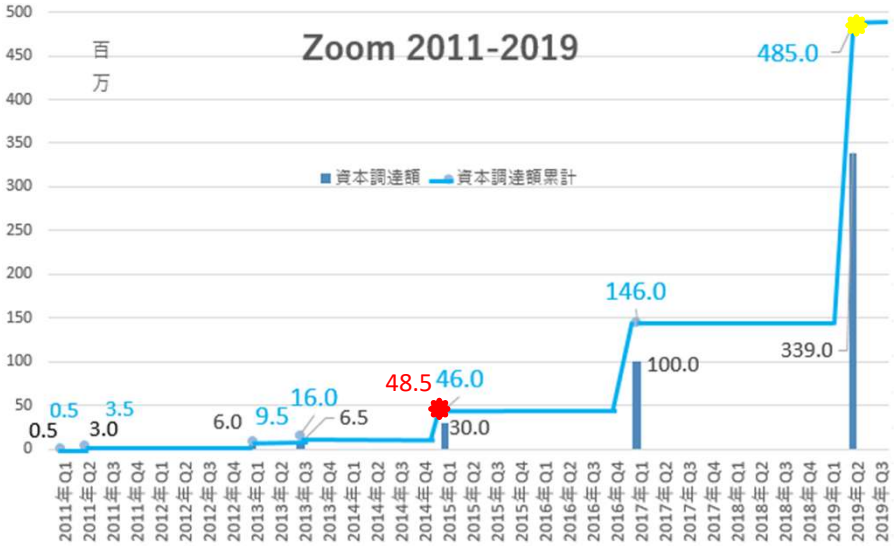
公表日	Funding Type	調達額	主な投資家名（下線はリードインベスター）
2009年8月8日	Seed	20万ドル	Garrett Camp, Travis Kalanick
2010年8月20日	Seed	-	Techstars, Techstars Ventures
2010年10月15日	Angel	125万ドル	A-Grade Investments, Adam Leber, AFSquare, Alfred Lin, Babak Nivi, Bechtel Ventures, Bobby Yazdani, Cyan Banister, David Sacks, DCVC, Dror Berman, First Round Capital, Founder Collective, Gary Vaynerchuk, Jason Calacanis, Jason Port, Jeremy Stoppelman, Josh Spear, Kapor Capital, Kevin Hartz, Khaled Helioui, Lowercase Capital, Mike Walsh, Naval Ravikant, Oren Michels, Scott
2011年2月14日	Series A	1,100万ドル	Alfred Lin, Benchmark, First Round Capital, Innovation Endeavors, Lowercase Capital, Scott Banister
2011年12月7日	Series B	3,700万ドル	Atom Factory, Cota Capital, DCVC, Eniac Ventures, Goldman Sachs, Jeff Bezos, Jeff Kearl, Menlo Ventures, Scott Belsky, Signatures Capital, Summit Action, Tuesday Capital
2013年8月23日	Series C	3億6,300万ドル	GV, John Kobs, Scott Belsky, Shawn "Jay-Z" Carter, TPG Growth
2014年4月1日	Funding Round	―	Lars Fjeldsoe-Nielsen
2014年6月6日	Series D	14億ドル	ACME Capital, BlackRock, Fidelity, GC Capital, General Atlantic, GV, Kleiner Perkins, Menlo Ventures, Summit Partners, Wellington Management
2014年9月28日	Secondary Market	―	ESO Fund
2014年12月4日	Series E	12億ドル	ACME Capital, Glade Brook Capital Partners, Jack Abraham, Lone Pine Capital, New Enterprise Associates, Qatar Investment Authority, Razmig Hovaghimian, Valiant Capital Partners
2014年12月12日	Series E	6億ドル	Baidu
2015年1月6日	Venture Series	―	Eric Tobias
2015年1月21日	Convertible Note	16億ドル	Goldman Sachs Investment Partners
2015年2月18日	Series E	10億ドル	ACE & Company, Brand Capital, Foundation Capital, Glade Brook Capital Partners, HDS Capital, IVP, Lead Edge Capital, Light Street Capital, Square Peg Capital, Sway Ventures, Times Internet, Tomales Bay Capital, Vulcan Capital
2015年2月23日	Secondary Market	―	Akkadian Ventures
2015年7月31日	Series F	10億ドル	408 Ventures, All Blue Capital, AppWorks, Bennett Coleman and Co Ltd, Eastlink Capital, Microsoft, MSA Capital
2015年8月19日	Private Equity	1億ドル	Tata Opportunities Fund (TOF)
2016年2月12日	Private Equity	2億ドル	Letterone Holdings SA
2016年6月1日	Series G	35億ドル	FortRoss Ventures, Geodesic Capital, London Impact Ventures, Saudi Arabia's Public Investment Fund
2016年7月7日	Debt Financing	11.5億ドル	Barclays, Citigroup, Goldman Sachs, Morgan Stanley
2017年4月19日	Series G	―	Axel Springer, G Squared
2017年12月28日	Secondary Market	77億ドル	Altimeter Capital, Didi, Dragoneer Investment Group, General Atlantic, Sequoia Capital, SoftBank Vision Fund, Tencent Holdings, TPG
2017年12月28日	Venture Series	12.5億ドル	SoftBank Vision Fund
2018年5月23日	Secondary Market	6億ドル	Altimeter Capital, Coatue, SharesPost Investment Management, TPG
2018年8月27日	Corporate Round	5億ドル	Toyota Motor Corporation

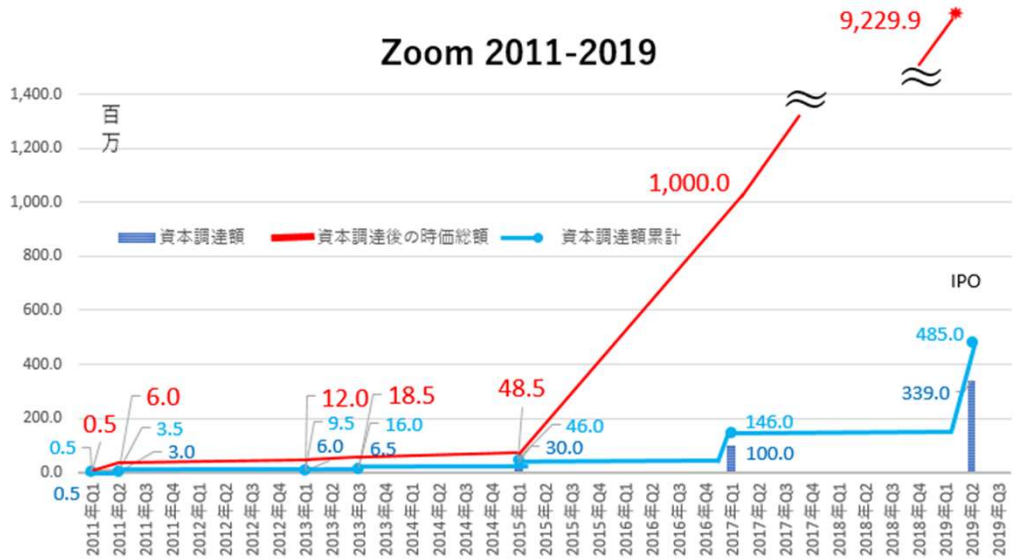
出所：Crunch Base。

©2022,H.Tadokoro,RIETI

事例 1 - 2 Zoom Video Communications, Inc.

〇テレビ会議システム等のサービスを提供するズーム は、2010年の設立後、レギュレーションDに基づく私募等によりプライベート・マーケットからの資本調達を繰り返して。未上場株式がセカンダリー・マーケットで取引されて企業価値が上昇し、2017年にユニコーン企業となり、2019年にはIPOを果たした。



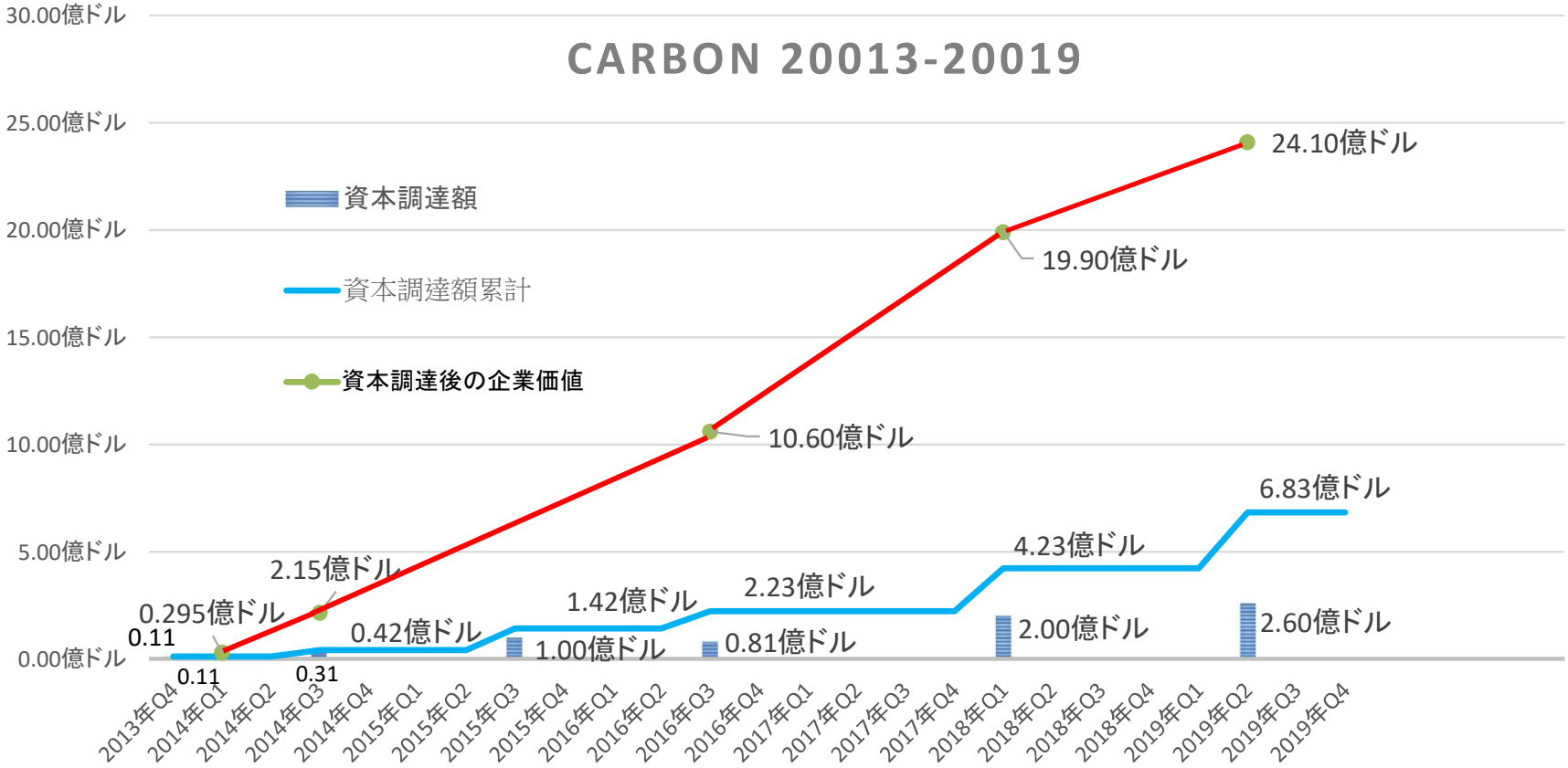


公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の企業価値		SECへの提出日、効力発生日等	免除規定等	募集額
2010年2月5日	プレ・シードラウンド	50万ドル	50万ドル	50万ドル				
2011年	設立							
2011年6月1日	シードラウンド	300万ドル	350万ドル	600万ドル				
2013年1月28日	シリーズA	600万ドル	950万ドル	1,200万ドル				
2013年9月24日	シリーズB	650万ドル	1,600万ドル	1,850万ドル	（以下、1ドル=110円）	2013年9月4日	レギュレーションDルール506	650万ドル
2015年2月4日	シリーズC	3,000万ドル	4,600万ドル	4,850万ドル	53億3500万円	2015年2月10日	レギュレーションDルール506(b)株式の私募	3,000万ドル
2017年1月17日	シリーズD	1億ドル	1億4,600万ドル	10億ドル	1,100億円	2017年1月26日	レギュレーションDルール506(b)株式の私募	1億1,524万ドル
2019年4月19日	IPO	3億3,897万ドル	4億8,497万ドル	92億2,998万ドル	1兆0152億9795万円	2019年4月17日	株式の公募 株式登録届出書の提出	3億3,897万ドル
	計	4億8497万ドル		―	―	―	―	4億9,071万ドル

©2022,H.Tadokoro,RIETI

事例1-3 Carbon, Inc.（3Dプリンター等製造業）

〇世界で初の炭素繊維用の３Dプリンター等を開発・製造・販売するCarbon, Inc.（本社：カリフォルニア州レッドウッド）は、2013年に設立され、レギュレーションDに基づく私募等により資本調達を繰り返し急成長を続け、設立後3年程度でユニコーン企業となった。株式が未上場株式マーケットプレイスのフォージ等で取引されるなかで、資本調達額累計を大きく超えて企業価値が拡大している。



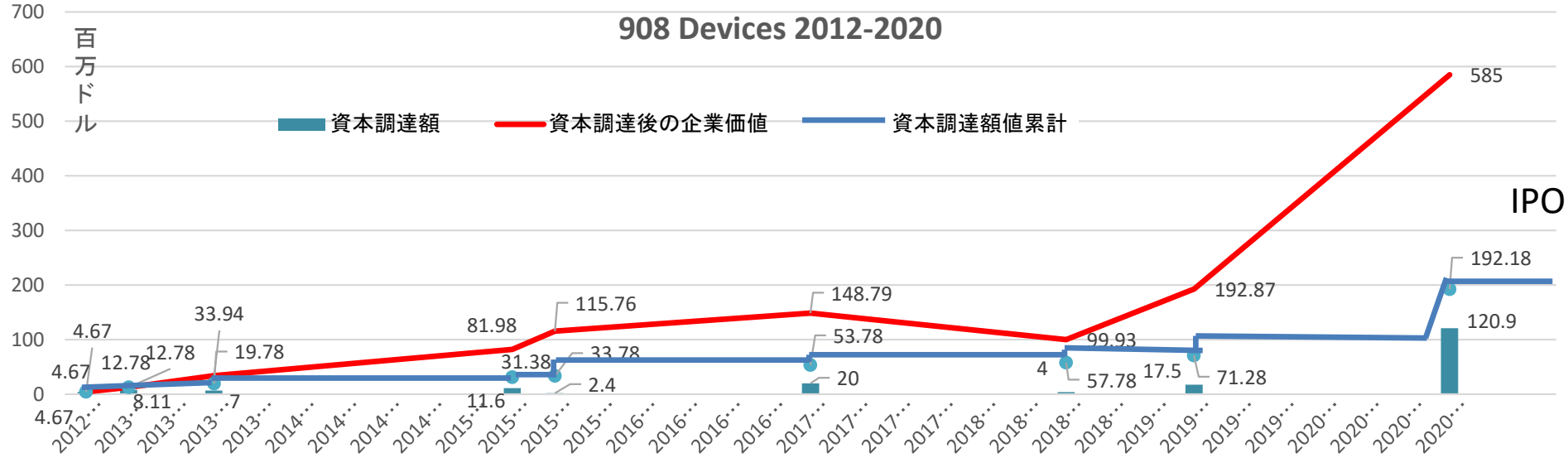
公表日 Announced Date	ラウンド名等 Funding Type	資本調達額	資本調達額累計 Money Raised①	資本調達後の企業価値 Total Funding Amount②	1ドル=110円	倍率 ②／①	SECへの提出日 SEC Filing date	免除規定等 Federal Exemption	募集額 total offering amounts
2013年12月31日	Series A	0.11億ドル	0.11億ドル	0.30億ドル	32.5億円	2.68			
2015年3月16日	Series B	0.31億ドル	0.42億ドル	2.15億ドル	236.5億円	5.12			
2015年8月20日	Series C	1.00億ドル	1.42億ドル	-	-	0.00	2015年8月20日	レギュレーションDルール506(b)	1.00億ドル
2016年9月15日	Series C	0.81億ドル	2.23億ドル	10.60億ドル	1,166.0億円	4.75	2016年9月27日	レギュレーションDルール506(b)	0.81億ドル
2017年12月20日	Series D	2.00億ドル	4.23億ドル	19.90億ドル	2,189.0億円	4.7	2018年2月14日	レギュレーションDルール506(b)	2.00億ドル
2019年6月25日	Series E	2.60億ドル	6.83億ドル	24.10億ドル	2,651.0億円	3.53	2019年4月5日	レギュレーションDルール506(b)	3.00億ドル

出所：資本調達額、企業価値はForge。

©2022,H.Tadokoro,RIETI

事例1-4 908 Devices, Inc.

〇超小型の質量分析器等を開発する908デバイセスは、大学発ベンチャー企業として2012年にマサチューセッツ州ボストンに設立され、まずベンチャーキャピタルの投資を受け、その後、レギュレーションDに基づく私募等により資本調達を繰り返し成長した。未上場株式がセカンダリー・マーケットで取引されて企業価値が上昇し、2020年にはIPOを実現した。



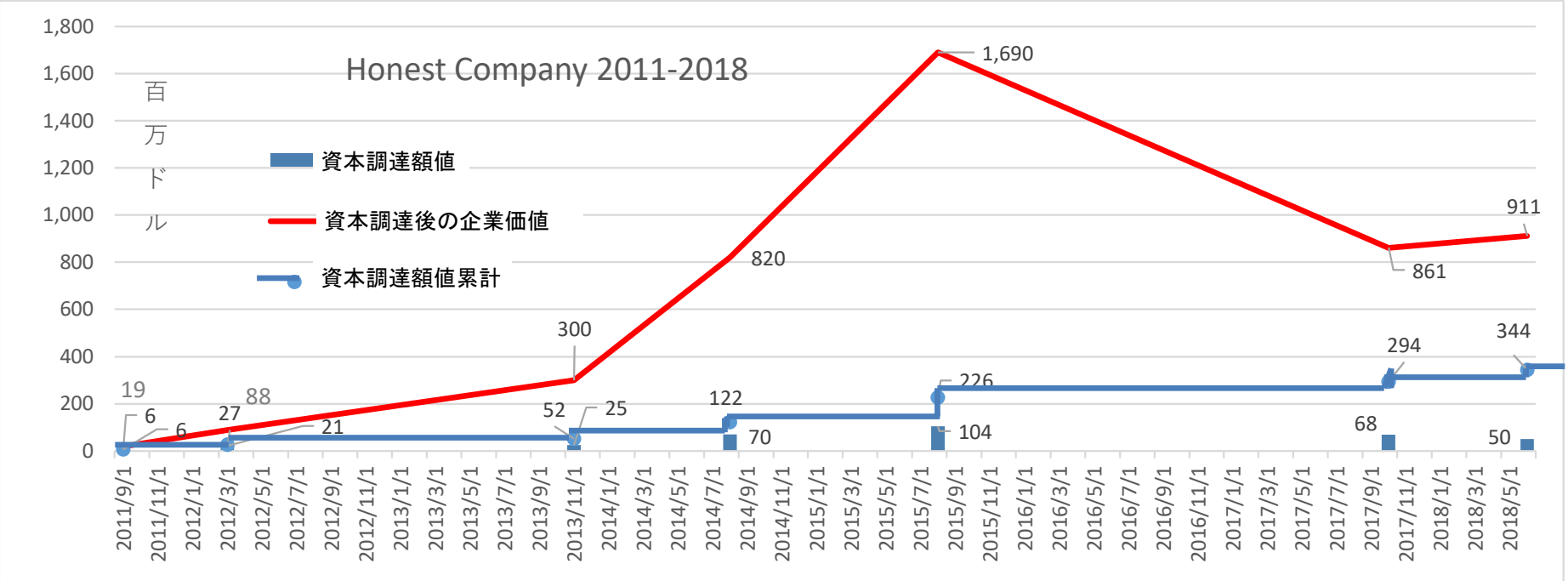
公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の企業価値	免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2012年	設立	467万ドル	467万ドル	467万ドル			
2013年2月1日	シリーズA	811万ドル	1,278万ドル	1,278万ドル	レギュレーションDルール506 株式の私募	812万ドル	2012年9月4日
2013年8月27日	シリーズB	700万ドル	1,978万ドル	3,394万ドル	レギュレーションDルール506 株式の数私募	800万ドル	2013年8月27日
2015年5月6日	シリーズC-I	1,160万ドル	3,138万ドル	8,198万ドル	レギュレーションDルール506(b) 株式の私募	1,160万ドル	2015年5月6日
2015年7月1日	シリーズC-II	240万ドル	3,378万ドル	1億1,576万ドル　(1ドル＝110円)			
2017年3月15日	シリーズD-Ⅰ	2,000万ドル	5,378万ドル	1億4,879万ドル　163億6690万円	レギュレーションDルール506(b) 株式の私募	2,400万ドル	2018年9月19日
2018年9月19日	シリーズD-Ⅱ	400万ドル	5,778万ドル	9,993万ドル　109億9230万円			
2019年4月26日	シリーズE	1,750万ドル	7,128万ドル	1億9,287万ドル　212億1570万円	レギュレーションDルール506(b) 株式の私募	1,750万ドル	2019年4月26日
2020年12月18日	IPO	1億2,090万ドル	1億9,218万ドル	5億8,500万ドル　643億5000万円	株式の公募 株式登録届出書の提出	1億3,000万ドル	2020年12月17日

©2022,H.Tadokoro,RIETI

２．中小企業の大企業への資本形成

事例２-1 Honest Company, Inc.

〇環境にやさしい婦人・乳児向けの各種の日用品を販売するオネスト・カンパニー（本社：カルフォルニア州ロサンゼルス）は、2011年の設立後、レギュレーションDに基づく私募等により資本調達を繰り返して成長を続けている。未上場株式マーケットプレイス(SharesPost)で取引されて企業価値も上昇し、2015年には10億ドルを超えるユニコーン企業となり、1億ドル超の資本調達を実施した。



実施時期等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計		資本調達後の企業価値		免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2011年	設立								
2011年9月1日	Seed	600万ドル	600万ドル		1,950万ドル		レギュレーションDルール506 株式の私募	600万ドル	2011年9月26日
2012年4月1日	Series A	2,100万ドル	2,700万ドル		8,851万ドル		レギュレーションDルール506 株式の私募	2,100万ドル	2012年4月9日
2013年11月1日	Series B	2,500万ドル	5,200万ドル		3億ドル		レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	2,500万ドル	2013年11月14日
2014年8月1日	Series C	7,005万ドル	1億2,205万ドル	（1ドル＝110円）	8.20億ドル		レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	7,000万ドル	2014年8月29日
2015年8月1日	Series D	1.04億ドル	2億2,605万ドル	248億6550万円	16.90億ドル	1,859億円	レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	1億ドル	2015年8月25日
2017年11月1日	Series E	6,782万ドル	2億9,387万ドル	323億2570万円	8.61億ドル	948億円	レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	7,500万ドル	2017年10月13日
2018年6月1日	Series F	5,000万ドル	3億4,387万ドル	378億2570万円	9.11億ドル	1,003億円			

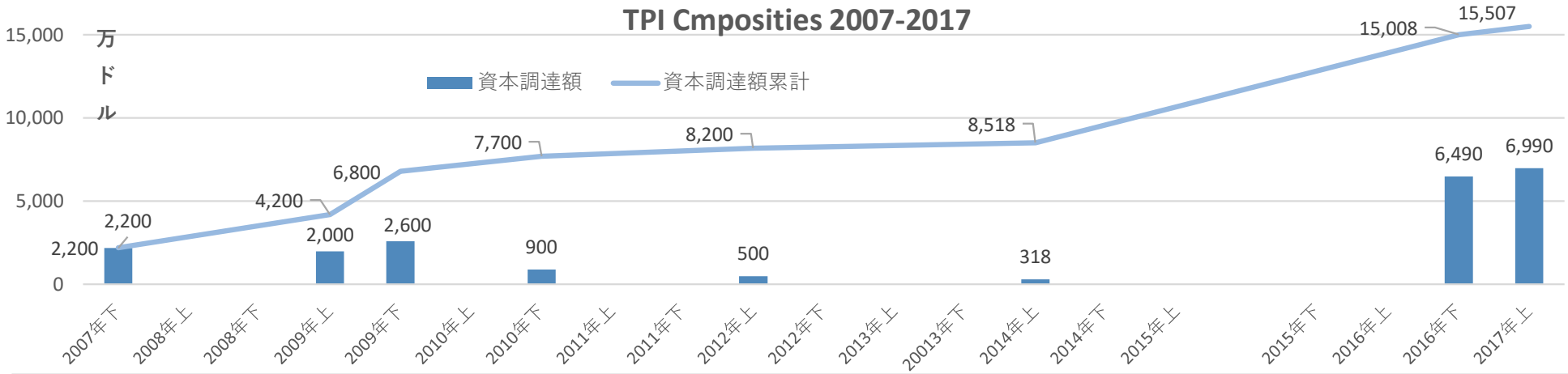
出所：資本調達額、企業価値はForge。

©2022,H.Tadokoro,RIETI

2．中小企業の大企業への資本形成

事例２-2 TPI Composites, Inc.

〇TPIコンポジテスは、1968年の設立後、アリゾナ州スコットディルを本拠に、車両等の複合材料を製造してきた。2000年代に入り、風力発電用の羽の製造等に乗り出した。まずベンチャーキャピタルの出資を受けて投資資金を確保し、レギュレーションDの私募等による資本調達を続けて成長し、2016年にIPOを実現した。2017年にはPOを実施してさらに資本を増強している。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計		免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
1968年	設立						
2007年10月12日	シリーズA	2,200万ドル	2,200万ドル				
2009年2月11日	VCラウンド	2,000万ドル	4,200万ドル		レギュレーションDルール506 優先株式の私募	2,000万ドル	2009年2月3日
2009年12月3日	シリーズB	2,600万ドル	6,800万ドル		レギュレーションDルール506 株式の私募	2,100万ドル	2009年6月2日
					レギュレーションDルール506 株式の私募	500万ドル	2009年11月24日
2010年6月17日	VCラウンド	900万ドル	7,700万ドル		レギュレーションDルール506 株式の私募	1,200万ドル	2010年6月29日
					レギュレーションDルール506 株式の私募	50万ドル	2011年3月1日
					レギュレーションDルール506 株式の私募	50万ドル	2011年4月5日
2012年2月14日	VCラウンド	500万ドル	8,200万ドル				
				(1ドル＝110円)	レギュレーションDルール506(b) 社債、新株引受権、新株引受権付株式の私募	1,500万ドル	2014年2月25日
2014年5月14日	VCラウンド	318万ドル	8,518万ドル	93億6958万円	レギュレーションDルール506(b) 株式、新株引受権、新株引受権付株式の私募	318万ドル	2014年5月15日
					上記の修正登録	742万ドル	2014年7月14日
					レギュレーションDルール506(b) 社債、新株引受権、新株引受権付株式の私募	1,500万ドル	2015年1月7日
2016年7月22日	IPO	6,490万ドル	1億5,008万ドル	165億0858万円	株式の公募（株式登録届出書の提出）	7,358万ドル	2016年7月21日
2017年5月12日	PO	6,989万ドル	2億1,997万ドル	241億9648万円	株式の公募（株式登録届出書の提出）	6,875万ドル	2017年5月11日

©2022,H.Tadokoro,RIETI

事例２-３ Gilmore Homes Gilmore Loans, LLC

〇ジョージア州アトランタを本拠とするギルモアは、オフィスビル、商業施設、マンション等の不動産開発やテナントの業態開発、金融業などを営む。設立後、個人企業から会社形態となるときにレギュレーションDの私募で資本を調達して成長の基盤を固めた。2019年に現在の形態のLLCを設立したの後、レギュレーションAのミニIPOで資本を調達し、大規模不動産開発とテナントの業態開発のための資金を得ることに成功した。

SECへの提出日、効力発生日等	免除規定等	募集額＊1	募集額累計
1993年	Michael Gilmore Development Co. 創業		
2006年1月9日	レギュレーションD506 優先株式の私募	5,000万ドル	5,000万ドル
2006年1月20日	Michael Gilmore Co. に名称変更		
2018年8月25日	SEED　ラウンド	3,000ドル	5000万3000ドル
2019年11月17日	Gilmore Homes Gilmore Loans, LLCへの変更		
2020年7月7日	レギュレーションA Tier2　株式の小規模公募	5,000万ドル	1億3000ドル

＊1 2018年のSEEDラウンドは調達額、Crunch Baseからのデータ。

事例２-４ Muscle Maker, Inc.

〇マスカル・メーカーは、テキサス州バレーソンを本拠にして、サラダなどのダイエットフードを提供するレストランチェーンを運営する。1995年に創業し、2014年に現在の業態の会社を設立した後、急成長する中で、レギュレーションA (Tier 2) のミニIPOで資本調達を始めたが、脆弱な財務基盤のため株式の応募が不振で、ミニIPOは中止となった。

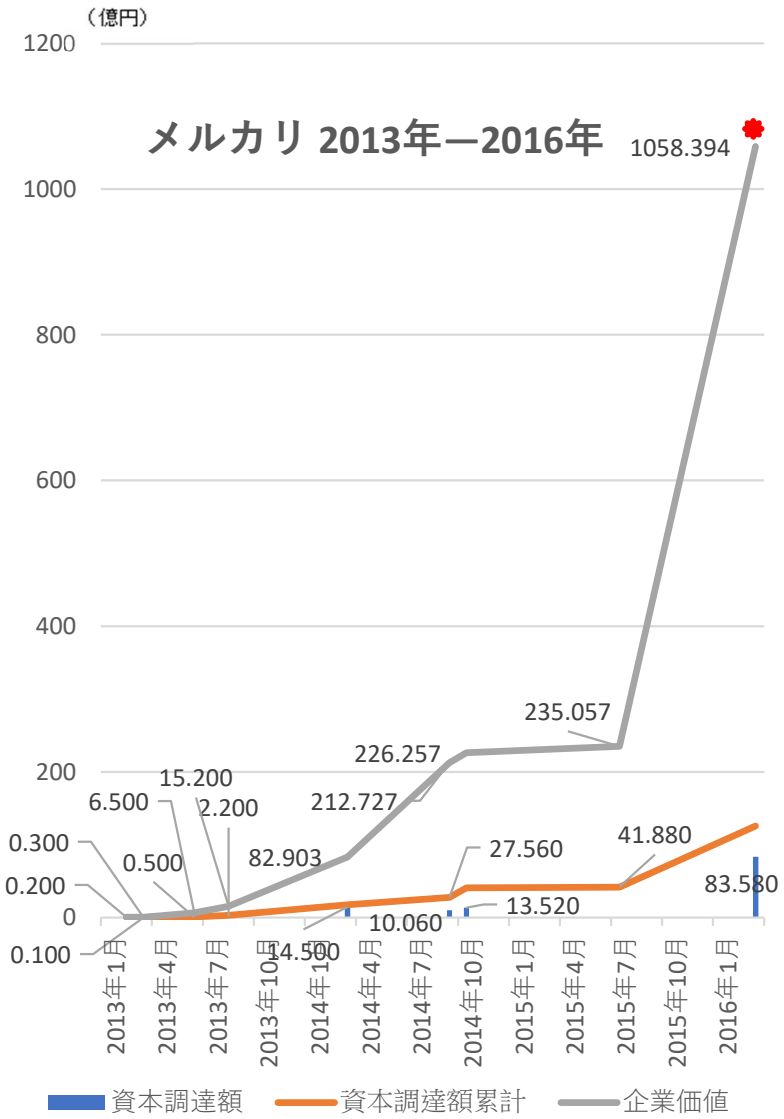
〇その後、証券取引法第4条(a)(4)の私募で適格投資家から転換社債等で資本を調達し、また、OTC Marketsに店頭登録するなど、体制を整えて、さらなる急成長のなかでIPOを実現した。

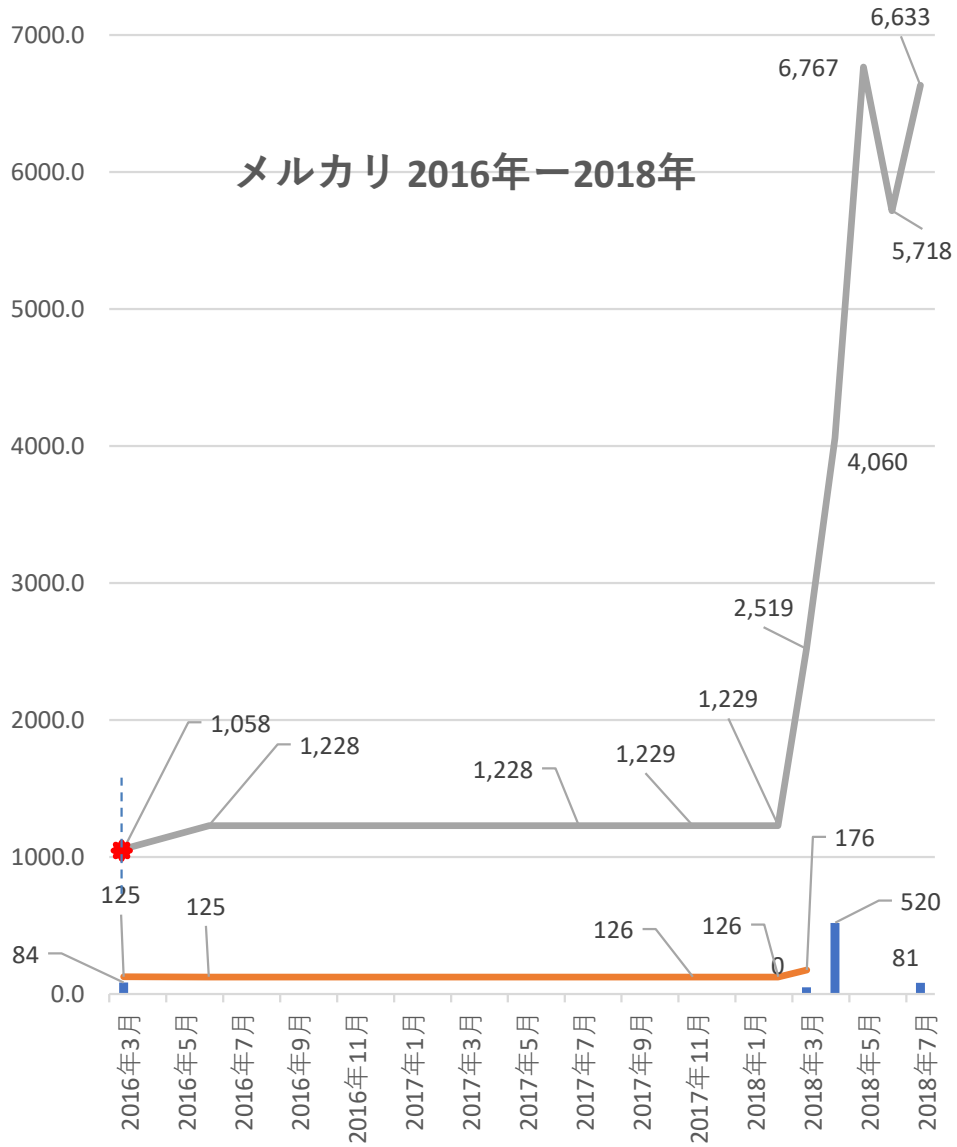
SECへの提出日、効力発生日等	免除規定等	募集額
2014年	設立	
2017年12月12日	レギュレーションＡ Tier 2	1,995万ドル
2018月3月29日	レギュレーションＡ Tier 2の中止	
2020年2月12日	ＩＰＯ／株式の公募 株式登録届出書の提出	805万ドル

©2022,H.Tadokoro,RIETI

参考事例：㈱メルカリの資本形成

〇㈱メルカリは、創業後、小刻みに資本調達を繰り返したのち、大型の調達に成功して、資本調達額累計も日本のIT系スタートアップとしては「群を抜く」125億円に達し、ユニコーン企業となった。その後、シリアル・アントレプレナーである創業者の考えで、「上場企業になることよりも、世界で成功することに重きを置いて」未上場のままでの成長を図る。この間、米国のような資本調達額の段階的な拡大はなく、資本形成は停滞するが、IPO直前に大型の調達に成功し、ロケットIPOを果たした。＊1。





＊1「上場しないメルカリ 注目集めるユニコーンモデル」ネットイヤーグループ社長 石黒不二代 日経産業新聞2017年5月18日付から引用。

©2022,H.Tadokoro,RIETI

参考事例：㈱メルカリの資本形成(データ)

〇メルカリは 、創業後、米国のユニコーン企業と同様に、少額でも企業価値を拡大させる効果の大きい優先株式を活用して、VCファンド等から資本を調達し、企業価値の拡大を図る。シリーズDでは、発行価格10,700円のD種優先株式によりVCや事業会社から約84億の大規模な調達に成功し、企業価値の飛躍的な拡大を実現した。この結果、企業価値・時価総額が1100億円(10億ドル)を超えるユニコーン企業となる。その後、未上場のまま事業の成長を図るが、125億円程度から資本調達額累計の拡大はないままに、業務提携が見込まれる事業会社等からの大型投資を受けた直後、IPOを実現した。

募集開始日等	ファンディング・タイプ ＊１＊2	資本調達額	資本調達額累計 ①	企業価値・時価総額 ②＊3	②÷①	投資家数	投資家名
2013年2月1日	会社設立	0.20億円	0.20億円	0.20億円	1.0		
2013年3月29日	プレ・シード	0.10億円	0.30億円	0.30億円	1.0	5	山田進太郎、富島寛、㈱suadd、他2名
2013年6月3日	シード	0.50億円	0.80億円	6.50億円	8.1	1	イーストベンチャーズ投資事業有限責任組合（VCF）
2013年8月30日	シリーズA	2.20億円	3.00億円	15.20億円	5.1	1	ユナイテッド㈱
2014年3月28日	シリーズB	14.50億円	17.50億円	82.90億円	4.7	7	グローバル・ブレイン５号VCF、グロービス4号ファンドVCF、テクノロジーベンチャーズ3号VCF、他3社と１名
2014年9月10日	シリーズC	10.06億円	27.56億円	212.73億円	7.7	4	グローバル・ブレイン５号VCF、グロービス4号ファンドVCF、他2社
2014年9月30日		13.52億円	41.08億円	226.26億円	5.5	2	WIL FUND I, L.P. 、他1社
2016年3月2日	シリーズD（無担保転換社債型新株予約権付社債の転換）	83.58億円	125.46億円	1058.39億円	8.4	9	三井物産㈱、㈱日本政策投資銀行、他５社と2名
2018年3月13日	VCシリーズ	50.00億円	175.54億円	2519.19億円	14.4	3	日本郵政キャピタル㈱、フォーレスト・フォールディング合同会社、ヤマト運輸㈱
2018年6月18日	ブックビルディングによる募集（IPO）	520.26億円	695.80億円	4059.94億円	5.8		
2018年6月19日	初値			6766.57億円	9.7		
2018年年7月19日	オーバーアロットメント関連の第三者割当増資	81.38億円	695.80億円	6632.65億円	8.5		

（出所）特記のないものは㈱メルカリの有価証券届出書（平成30年6月11日訂正後）。平成30年6月18日、30日のデータは平成30年の有価証券報告書。
＊１ 出所：Crunch Base及び有価証券届出書。
＊２ 株式分割を、2014年4月30日に100倍、2017年10月20日に10倍で実施。2017年7月2日に優先株式を普通株式に交換している。
＊３ 企業価値(post-money valuation)は、有価証券届出書の発行済株式総数残高に、そのラウンドでの発行価格又は直近高値を乗じて算定している。株式交換実施後の3回の新株予約券行使の時の企業価値は、普通株式の直近高値の発行価格を用いて算定している。IPO後は、市場価格を乗じて算定している。
＊4　シリーズDの企業価値(post-money valuation)を、株式の種類ごとに直近発行価格を乗じ、合計して求めると、企業価値は821.7億円、6.55倍となる。